

7月21日(木) 20:00~ CP黄 GK紫

Aグループ予選 2試合目

日本 39(18-11, 21-8) 19 チリ

(戦評)

予選リーグ2試合目はチリ。日本はLW吉岡, LB中村風, CB行本, RB金城, RW中山, PV並木, GK榎でスタート。序盤はディフェンスの足がよく動き, 先制点こそチリに奪われるものの, 相手のミスを誘い出し, No.5吉岡, No.6行本, No.14中山らの速攻を中心にゴールを重ね, 前半7分過ぎに6-2と4点差をつける。ここでチリがタイムアウトを要求。タイムアウト後は日本にミスが見られ始め, No.15金城の退場もあり12分過ぎに7-6と1点差まで詰め寄られる。しかし, ここで日本はタイムアウトを取り, 態勢を立て直す。タイムアウト明けはNo.8並木の速攻をはじめ, No.3林, No.4浜, No.10野崎, No.17八田らの活躍により, 徐々に突き放していく。ディフェンスではチリのライン際を狙う攻撃に苦戦するも, 日本の攻撃力がそれを上回り, 前半を18-11として折り返す。

後半に入っても日本の攻勢は続く。後半2分過ぎにNo.8並木が7mTを決めると, No.5吉岡, No.11新川がそれに続くゴールを決める。退場やテクニカルミスなどの失策があるものの, それをチリもものにできず, 日本のペースで試合が進んで行く。後半12分過ぎにNo.4浜の速攻が決まり, 26-14となるとチリはタイムアウトを取るが, 日本の攻撃は止まず, No.5吉岡, No.13中村風らのシュートにより, 後半19分頃には30-14と大量リードを奪う。日本はディフェンスにおいてやはりライン際で苦しんだが, No.12金山のセーブなどで流れを離さない。終盤はNo.13中村風, No.14中山らが速攻を決めていき, 最終スコア39-19でタイムアップを迎える。

これで日本はリーグ戦1勝1分け。3戦目からはヨーロッパ勢との戦いを迎える。次のクオアチア戦に向け, この流れをうまく持っていけるかどうか勝負になるだろう。

なお, この試合の優秀選手として, No.5吉岡が選ばれた。

(個人得点)

11点 中山, 6点 吉岡, 5点 並木, 3点 行本, 2点 林・浜・野崎・新川・中村風・金城・八田